

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画														
学部		高等部 職能開発科		学年		1年		学習グループ		A組(10人)	教科等名	美術		
年間授業時数		38		使用教室		第2美術室						使用教科書	新美術 表現と鑑賞(開隆堂出版)	
曜日・校時 担当教員		火曜日	3時間目 (10：35～11：25)			MT	長井光司		ST	大宮喜勝				
						MT			ST					
ね ら い	(1)	造形活動を通して表現することを楽しみ、豊かな感性を養う。												
	(2)	多くの経験を積み、自分らしい表現方法に気づくようにする。												
	(3)	得意とする表現や技能を生かし自己肯定感を持つ。												
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい			手だて			
1 学 期	モザイククイズ (通年) 授業オリエンテーション		4	2	視覚クイズについて 画材について 前期課題について		・美術への関心を高める。 ・美術の道具や素材のある場所を理解する。 ・前期の進め方について理解する。			・段階を追って答えに近づくようにする。 ・題材の見本を多く提示する。				
	抽象画を描く		5	4	彩色の仕方について		・色彩だけで表現する奥深味わ いを知る。 ・様々な彩色方法がある事を理 解する。			・身近な色と線だけの画面を参考資 料として見せる。				
	抽象画を描く		6	4	マチエールについて		・マチエール(画面の質感)が 何かを理解する。 ・実験的な制作を試していく。 ・実際に制作し、完成度の高い マチエールを制作する。			・多くの有名な画家の描いた作品の 下地を参考資料として見せる。				
	抽象画を描く		7	2	色彩の調和について		・色と色の調和や補色の関係を 理解する。 ・実際に制作し高い作品の完成 度を目指す。			・多くの有名な抽象画を参考資料と して見せる。				
2 学 期	木彫によるデザイン プレートの制作		9	4	原画の作成のポイントについ て 木の目の方向について 陽刻・陰刻について		・コントラストのはっきりして いる原画である必要性を理解す る。 ・彫刻刀の種類と使い方を知 る。			・彫るのに適した原画の見本を示す ・彫刻刀の種類を視覚的にわかりや すく伝える。				
	木彫によるデザイン プレートの制作		10	4	木の目の方向について 陽刻・陰刻について		・彫りやすい木の目を知る。 ・陽刻と印刻の違いを知る。			・彫り方のコツや技術的な面での説 明を視覚的にわかりやすく伝える。				
	木彫によるデザイン プレートの制作		11	4	木の目の方向について 陽刻・陰刻について ニスの塗り方について		・彫りやすい木の目を知る。 ・陽刻と印刻の違いを知る。 ・きれいに塗布するやり方を理 解する。			・根気強く掘り続けられるよう励ま しの言葉かけを多く行っていく。				
	平面構成の制作		12	4	画面の構成について		・アイデアを出す方法を理解す る。			・参考作品を提示する。				
3 学 期	平面構成の制作		1	2	画面の構成について		・画面をバランスよく構成する 事を理解する。			・様々な構成の仕方について丁寧 に説明を行う。				
	平面構成の制作		2	4	描画と着色について		・構想を考え構成を行う。 ・雰囲気のある画面の作品を目 指す。			・制作方法について丁寧に説明を行 う。				
	平面構成の制作		3	4	描画と着色について		・雰囲気のある画面で完成度の 高い作品を目指す。			・より完成度の高い作品を目指すよ うに指導する。				

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画																			
学部		高等部 職能開発科		学年		1年		学習グループ		B組(10人)		教科等名		美術					
年間授業時数		38		使用教室		第2美術室						使用教科書		新美術 表現と鑑賞(開隆堂出版)					
曜日・校時 担当教員		火曜日	4時間目 (11:30～12:20)			MT	長井光司			ST	忍田裕嗣								
						MT				ST									
ね ら い	(1)	造形活動を通して表現することを楽しみ、豊かな感性を養う。																	
	(2)	多くの経験を積み、自分らしい表現方法に気づくようにする。																	
	(3)	得意とする表現や技能を生かし自己肯定感を持つ。																	
学期		単元名		月	時数	主な学習内容				ねらい				手だて					
1 学 期	モザイククイズ(通年) 授業オリエンテーション		4	2	視覚クイズについて 画材について 前期課題について				・美術への関心を高める。 ・美術の道具や素材のある場所を理解する。 ・前期の進め方について理解する。				・段階を追って答えに近づくようにする。 ・題材の見本を多く提示する。						
	抽象画を描く		5	4	彩色の仕方について				・色彩だけで表現する奥深味を知る。 ・様々な彩色方法がある事を理解する。				・身近な色と線だけの画面を参考資料として見せる。						
	抽象画を描く		6	4	マチエールについて				・マチエール(画面の質感)が何かを理解する。 ・実験的な制作を試していく。 ・実際に制作し、完成度の高いマチエールを制作する。				・多くの有名な画家の描いた作品の下地を参考資料として見せる。						
	抽象画を描く		7	2	色彩の調和について				・色と色の調和や補色の関係を理解する。 ・実際に制作し高い作品の完成度を目指す。				・多くの有名な抽象画を参考資料として見せる。						
2 学 期	木彫によるデザイン プレートの制作		9	4	原画の作成のポイントについて 木の目の方向について 陽刻・陰刻について				・コントラストのはっきりしている原画である必要性を理解する。 ・彫刻刀の種類と使い方を知る。				・彫るのに適した原画の見本を示す ・彫刻刀の種類を視覚的にわかりやすく伝える。						
	木彫によるデザイン プレートの制作		10	4	木の目の方向について 陽刻・陰刻について				・彫りやすい木の目を知る。 ・陽刻と印刻の違いを知る。				・彫り方のコツや技術的な面での説明を視覚的にわかりやすく伝える。						
	木彫によるデザイン プレートの制作		11	4	木の目の方向について 陽刻・陰刻について ニスの塗り方について				・彫りやすい木の目を知る。 ・陽刻と印刻の違いを知る。 ・きれいに塗布するやり方を理解する。				・根気強く掘り続けられるよう励ましの言葉かけを多く行っていく。						
	平面構成の制作		12	4	画面の構成について				・アイデアを出す方法を理解する。				・参考作品を提示する。						
3 学 期	平面構成の制作		1	2	画面の構成について				・画面をバランスよく構成する事を理解する。				・様々な構成の仕方について丁寧に説明を行う。						
	平面構成の制作		2	4	描画と着色について				・構想を考え構成を行う。 ・雰囲気のある画面の作品を目指す。				・制作方法について丁寧に説明を行う。						
	平面構成の制作		3	4	描画と着色について				・雰囲気のある画面で完成度の高い作品を目指す。				・より完成度の高い作品を目指すように指導する。						

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 職能開発科		学年	2 年	学習グループ	A組(10人)	教科等名	美術
年間授業時数		35.2		使用教室	第2美術室			使用教科書	新美術 表現と鑑賞(開隆堂出版)
曜日・校時 担当教員		月曜日	6時間目 (14:10～15:00)		MT	長井 光司	ST	竹脇礼子	
					MT		ST		
ね ら い	(1)	造形活動を通して表現することを楽しみ、豊かな感性を養う。							
	(2)	多くの経験を積み、自分らしい表現方法に気づくようにする。							
	(3)	得意とする表現や技能を生かし自己肯定感を持つ。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	モザイククイズ(通年) 授業オリエンテーション		4	1.7	視覚クイズについて 前期課題について		・美術への関心を高める ・前期の進め方について理解する。		・段階を追って答えに近づくようにする ・描き方をよく理解するように参考作品を見せる。
	繰り返し模様による絵画		5	2	アイデアと構成について		・アイデアを形に表す過程を理解する。 ・バランスよく構成できるようになる		・全体のバランスや模様の大きさに配慮するよう言葉かけをする
	繰り返し模様による絵画		6	4	原画の彩色について		・模様の大きさを考えて描くことを理解する		・模様の大きさを具体的に提示する
	繰り返し模様による絵画 箱の造形		7	2	原画の彩色について 箱を組み合わせた立体造形について。		・全体を見て彩色のバランスを考える。 ・箱を組み合わせることで具体物が作れることを理解する。		・彩色するところとしないところがあることによって作品の見え方が違うことを例示する。 ・完成品の見本を見せる
2 学 期	箱の造形		9	1	箱を組み合わせた立体造形について。 箱の造形の完成に至る大まかなイメージについて		・箱を組み合わせることで具体物が作れることを理解する。 ・箱を使った造形で様々な可能性を追求する。		・完成品の見本を見せる ・完成品例を見せてイメージを持つ。
	箱の造形		10	4	箱の造形の完成に至る大まかなイメージについて 箱の着色について		・まとまりのある立体造形とは何かを理解する。 ・着色する色と後から塗装する色の関係を理解して着色する。		・一定以上、一定以下の大きさの基準を示す。 ・接着と彩色の仕方を具体的に行い示す。
	箱の造形		11	0	箱の着色と接着について		・接着時ののりの扱いに注意しながら作業できるようになる。		・接着と彩色の仕方を具体的に行い示す。
	箱の造形		12	4	最終的な仕上げ塗装について		・色彩の組み合わせを考えて着色できるようになる。		・塗装によって箱の雰囲気がなくなることを体感できるように指導する。
3 学 期	グリーティングカード作り		1	11	グリーティングカードについて		・グリーティングカードがどのようなものかを理解する。		・実際に使われているものを示す。
	グリーティングカード作り		2	1.5	グリーティングカードの中身と装飾について		・カードの言葉と絵柄の構成を考える。 ・紙の使い方や配色に気を付けまとまりを出す。		・全体のバランスや模様の大きさに配慮するよう言葉かけをする
	グリーティングカード作り		3	4	グリーティングカードカードの最終的な仕上げについて		・カードの言葉と絵柄の構成を考える。 ・紙の使い方や配色に気を付け高い完成度を目指す。		・全体のバランスや模様の大きさに配慮するよう言葉かけをする

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画										
学部		高等部 職能開発科		学年	2 年	学習グループ	B組(10人)	教科等名	美術	
年間授業時数		35.2		使用教室	第2美術室				使用教科書	新美術 表現と鑑賞(開隆堂出版)
曜日・校時 担当教員		月曜日	6時間目 (14：10～15：00)		MT	長井 光司		ST	竹脇礼子	
					MT			ST		
ね ら い	(1)	造形活動を通して表現することを楽しみ、豊かな感性を養う。								
	(2)	多くの経験を積み、自分らしい表現方法に気づくようにする。								
	(3)	得意とする表現や技能を生かし自己肯定感を持つ。								
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	モザイククイズ (通年) 授業オリエンテーション		4	1.7	視覚クイズについて 前期課題について		・美術への関心を高める ・前期の進め方について理解する。		・段階を追って答えに近づくようにする ・描き方をよく理解するように参考作品を見せる。	
	繰り返し模様による絵画		5	2	アイデアと構成について		・アイデアを形に表す過程を理解する。 ・バランスよく構成できるようになる		・全体のバランスや模様の大きさに配慮するよう言葉かけをする	
	繰り返し模様による絵画		6	4	原画の彩色について		・模様の大きさを考えて描くことを理解する		・模様の大きさを具体的に提示する	
	繰り返し模様による絵画 箱の造形		7	2	原画の彩色について 箱を組み合わせた立体造形について。		・全体を見て彩色のバランスを考える。 ・箱を組み合わせることで具体物が作れることを理解する。		・彩色するところとしないところがあることによって作品の見え方が違うことを例示する。 ・完成品の見本を見せる	
2 学 期	箱の造形		9	1	箱を組み合わせた立体造形について。 箱の造形の完成に至る大まかなイメージについて		・箱を組み合わせることで具体物が作れることを理解する。 ・箱を使った造形で様々な可能性を追求する。		・完成品の見本を見せる ・完成品例を見せてイメージを持つ。	
	箱の造形		10	4	箱の造形の完成に至る大まかなイメージについて 箱の着色について		・まとまりのある立体造形とは何かを理解する。 ・着色する色と後から塗装する色の関係を理解して着色する。		・一定以上、一定以下の大きさの基準を示す。 ・接着と彩色の仕方を具体的に行い示す。	
	箱の造形		11	0	箱の着色と接着について		・接着時ののりの扱いに注意しながら作業できるようになる。		・接着と彩色の仕方を具体的に行い示す。	
	箱の造形		12	4	最終的な仕上げ塗装について		・色彩の組み合わせを考えて着色できるようになる。		・塗装によって箱の雰囲気がなくなることを体感できるように指導する。	
3 学 期	グリーティングカード作り		1	11	グリーティングカードについて		・グリーティングカードがどのようなものかを理解する。		・実際に使われているものを示す。	
	グリーティングカード作り		2	1.5	グリーティングカードの中身と装飾について		・カードの言葉と絵柄の構成を考える。 ・紙の使い方や配色に気を付けまとまりを出す。		・全体のバランスや模様の大きさに配慮するよう言葉かけをする	
	グリーティングカード作り		3	4	グリーティングカードカードの最終的な仕上げについて		・カードの言葉と絵柄の構成を考える。 ・紙の使い方や配色に気を付け高い完成度を目指す。		・全体のバランスや模様の大きさに配慮するよう言葉かけをする	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画													
学部		高等部 職能開発科		学年		3年		学習グループ		A組(9人)	教科等名	美術	
年間授業時数		37		使用教室		第2美術室					使用教科書	新美術 表現と鑑賞(開隆堂出版)	
曜日・校時 担当教員		火曜日	5時間目 (13:15～14:05)			MT	長井 光司		ST	竹脇 礼子			
						MT			ST				
ね ら い	(1)	造形活動を通して表現することを楽しみ、豊かな感性を養う。											
	(2)	多くの経験を積み、自分らしい表現方法に気づくようにする。											
	(3)	得意とする表現や技能を生かし自己肯定感を持つ。											
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい			手だて		
1 学 期	モザイククイズ(通年) アボリジニアート (点で描く)		4	2	視覚クイズについて 前期課題について		・美術への関心を高める。 ・前期の進め方について理解する。			・段階を追って答えに近づくようにする。 ・描き方をよく理解するように参考作品を見せる。			
	アボリジニアート (点で描く)		5	5	アイデアと構成について 綿棒での彩色について		・綿棒で描くドットの大きさを考えて描く。			・全体のバランスや模様の大さに配慮するよう言葉かけを行う。			
	アボリジニアート (点で描く)		6	4	綿棒での彩色について		・可能な限り画面全体をドットで埋めて制作する。			・早く描く方法を工夫するように指導する。			
	アボリジニアート (点で描く)		7	2	全体の色調とバランスについて		・色調のバランスを教員や他者の意見を聞き工夫をする。			・完成に向けて可能な限り密度の濃い作品を目指すように指導する。 ・参考作品を多く見せる。			
2 学 期	フォトコラージュ		9	4	コラージュについて		・コラージュが何かを理解する。			・卒業生や有名作家などの多くの参考作品を見せる。			
	フォトコラージュ		10	4	写真の選択について		・制作方法について理解する。			・貼り方の基本と原理を詳しくわかりやすく話す。			
	フォトコラージュ		11	4	全体の雰囲気のイメージ統一について 現実にはない世界の創造について		・どの写真が必要か否かを判断しながら制作する。			・イメージの違いすぎるものは避けた方がよいことを作品例で示す。 ・細部に関し注意を促しより高い完成度を目指す。			
	卒業記念冊子作り		12	2	製本のやり方について		・製本の基本的な方法について理解する。			・製本の方法を実際に目の前でやり示す。			
3 学 期	卒業記念冊子作り		1	4	裁断と表紙の作り方について		・作り方を理解し丁寧に制作する。			・裁断時の安全には十分注意する。			
	卒業記念冊子作り		2	2	裁断と表紙の作り方について		・作り方を理解し丁寧に制作する。			・裁断時の安全には十分注意する。			
	卒業記念冊子作り		3	4	冊子の利用について		・皆で交換して描き良い思い出を作る。			・できるだけ多くの生徒と交換し、自分らしい絵と文を他の生徒の冊子に描くように促す。			

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画													
学部		高等部 職能開発科		学年		3年		学習グループ		B組(10人)	教科等名	美術	
年間授業時数		37		使用教室		第2美術室					使用教科書	新美術 表現と鑑賞(開隆堂出版)	
曜日・校時 担当教員		火曜日	6時間目(14:10～15:00)			MT	長井 光司		ST	竹脇 礼子			
						MT			ST				
ね ら い	(1)	造形活動を通して表現することを楽しみ、豊かな感性を養う。											
	(2)	多くの経験を積み、自分らしい表現方法に気づくようにする。											
	(3)	得意とする表現や技能を生かし自己肯定感を持つ。											
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい			手だて		
1 学 期	モザイククイズ(通年) アボリジニアート (点で描く)		4	2	視覚クイズについて 前期課題について		・美術への関心を高める。 ・前期の進め方について理解する。			・段階を追って答えに近づくようにする。 ・描き方をよく理解するように参考作品を見せる。			
	アボリジニアート (点で描く)		5	5	アイデアと構成について 綿棒での彩色について		・綿棒で描くドットの大きさを考えて描く。			・全体のバランスや模様の大さに配慮するよう言葉かけを行う。			
	アボリジニアート (点で描く)		6	4	綿棒での彩色について		・可能な限り画面全体をドットで埋めて制作する。			・早く描く方法を工夫するように指導する。			
	アボリジニアート (点で描く)		7	2	全体の色調とバランスについて		・色調のバランスを教員や他者の意見を聞き工夫をする。			・完成に向けて可能な限り密度の濃い作品を目指すように指導する。 ・参考作品を多く見せる。			
2 学 期	フォトコラージュ		9	4	コラージュについて		・コラージュが何かを理解する。			・卒業生や有名作家などの多くの参考作品を見せる。			
	フォトコラージュ		10	4	写真の選択について		・制作方法について理解する。			・貼り方の基本と原理を詳しくわかりやすく話す。			
	フォトコラージュ		11	4	全体の雰囲気イメージ統一について 現実にはない世界の創造について		・どの写真が必要か否かを判断しながら制作する。			・イメージの違いすぎるものは避けた方がよいことを作品例で示す。 ・細部に関し注意を促しより高い完成度を目指す。			
	卒業記念冊子作り		12	2	製本のやり方について		・製本の基本的な方法について理解する。			・製本の方法を実際に目の前でやり示す。			
3 学 期	卒業記念冊子作り		1	4	裁断と表紙の作り方について		・作り方を理解し丁寧に制作する。			・裁断時の安全には十分注意する。			
	卒業記念冊子作り		2	2	裁断と表紙の作り方について		・作り方を理解し丁寧に制作する。			・裁断時の安全には十分注意する。			
	卒業記念冊子作り		3	4	冊子の利用について		・皆で交換して描き良い思い出を作る。			・できるだけ多くの生徒と交換し、自分らしい絵と文を他の生徒の冊子に描くように促す。			